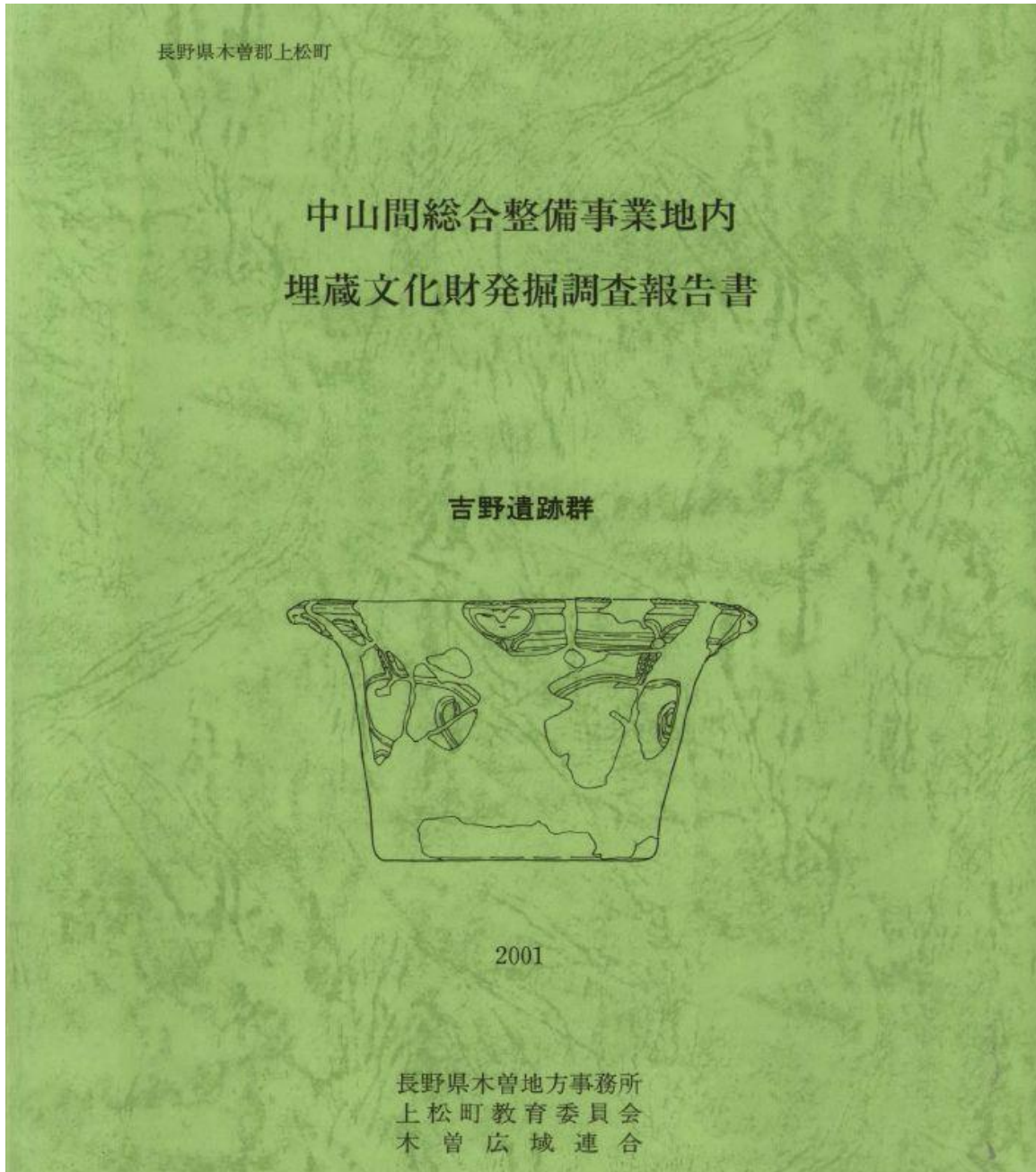
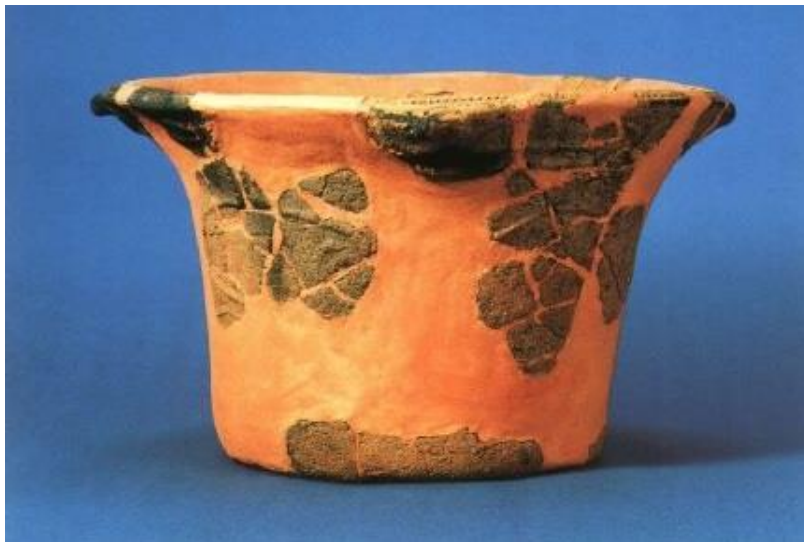


(4) 付録に追加

付録 2 : 吉野遺跡群調査報告



付録に、吉野遺跡の参考資料としてこの本を紹介します。内容の記載を検討したが、分厚い莫大な資料で全体の紹介をまとめることができなかった。そこで、長野県宝に指定された「顔面装飾付土器」のデータに絞って紹介します。



この人面装飾付き土器が、吉野遺跡では、一番有名のようで本の見出しページに載っていました

上松町の公式発行ページに、以下の掲載がありました。

https://www.town.agematsu.nagano.jp/kurashi/kosodate_kyoiku/kyoiku/naganokenpou.html

吉野遺跡から発掘された縄文土器が「長野県宝」指定されました。

平成30年9月27日に長野県内18市町村で出土した顔面などの装飾がある縄文土器158点が、「信州の特色ある縄文土器」として長野県報で告示され指定されました。

この中に1996年(平成8年)から1999年(平成11年)にかけて中山間総合整備事業により吉野遺跡で発掘された「顔面装飾付深鉢型土器」(縄文中期)1点が含まれています。

特徴は、鉢形土器の口縁端部に半円形の顔面をつけており、本来であれば4つの顔面があったと思われますが、3つが残る状態となっています。

吉野遺跡発掘の「顔面装飾付深鉢形土器」





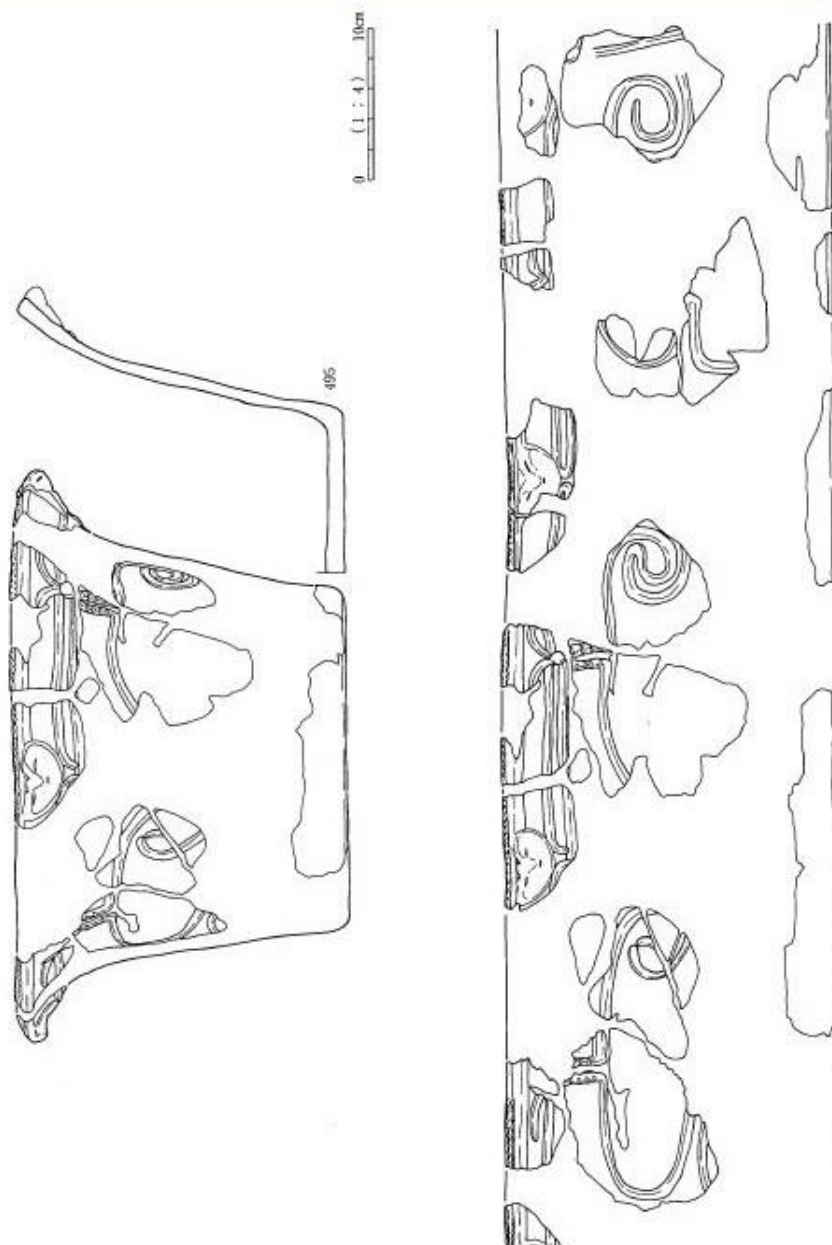
S B124 (図版22 PL5)

位置：I地区 XIA20 切り合い：NR14に切られる。 形状：不整円形 規模：径4.9×4.3m

構造：検出時に北側のプランを確認。南側はNR14に一部切られる。床面では8つのピットを検出したが、どれも浅く、炉も検出されていない。埋土は単層。住居跡中央部に床面よりやや浮いた状態で、拳～人頭大の礫が集中して検出され、そのなかから人面装飾付土器(495)が出土した。底部片は形を残して正位の状態で遺存し、他の部位は小破片の状態で、その周辺から集中的に出土した。人面装飾付土器以外の土器片についても礫の集中部や埋土中より出土している。

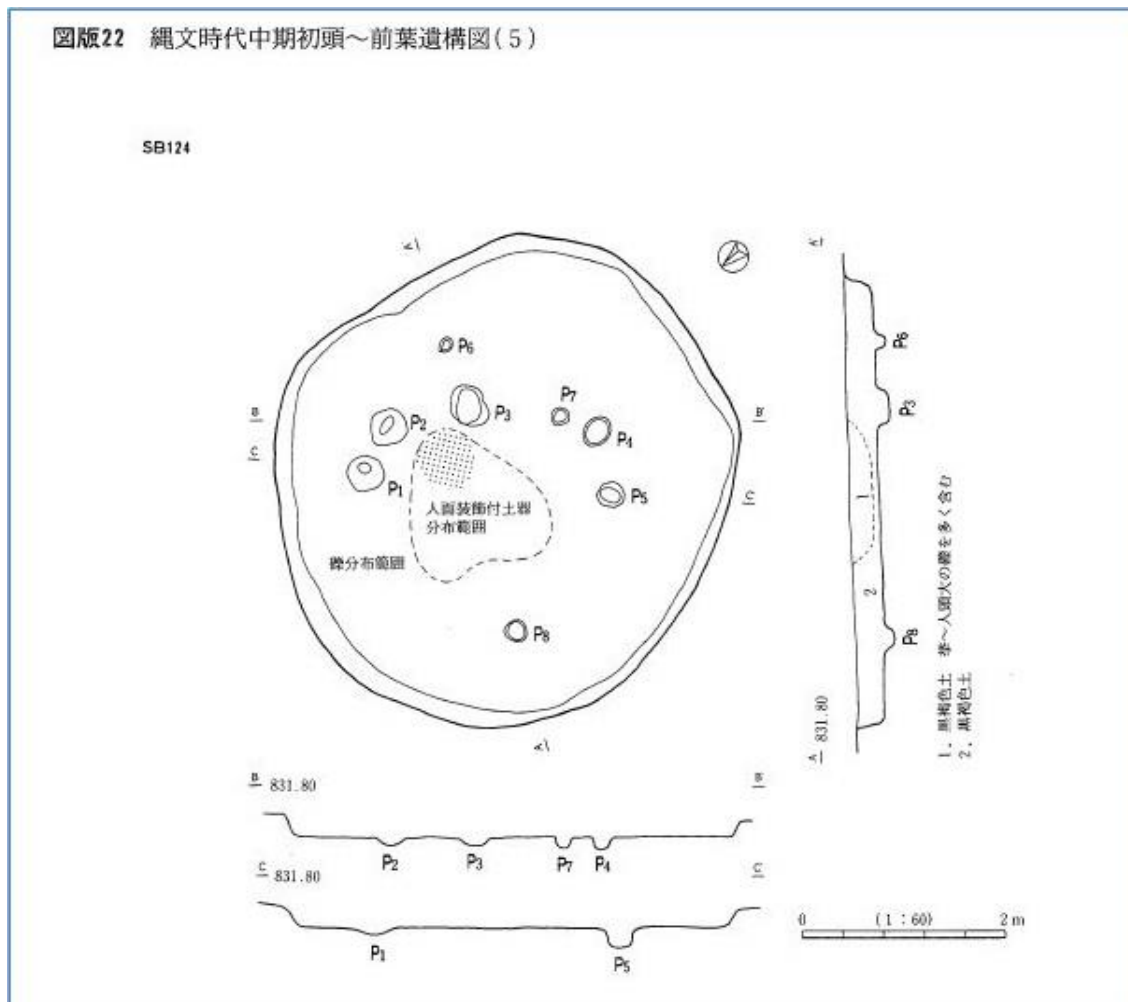
遺物：土器(図版38・39 PL34) 473～477は1群A類1種、478・481～484は1群A類2種、485・487は1群B類1種、486は1群B類2種、492・495は1群C類、479・480は1群E類1種、494は1群E類3種、493は1群E類4種b、488は1群F類、489～491は2群B類である。石器(図版132 PL53) 71は石錐である。このほかに、打製石斧などが出土した。

縄文時代中期初頭～前葉土器(17) 図版39





図版22 縄文時代中期初頭～前葉遺構図(5)



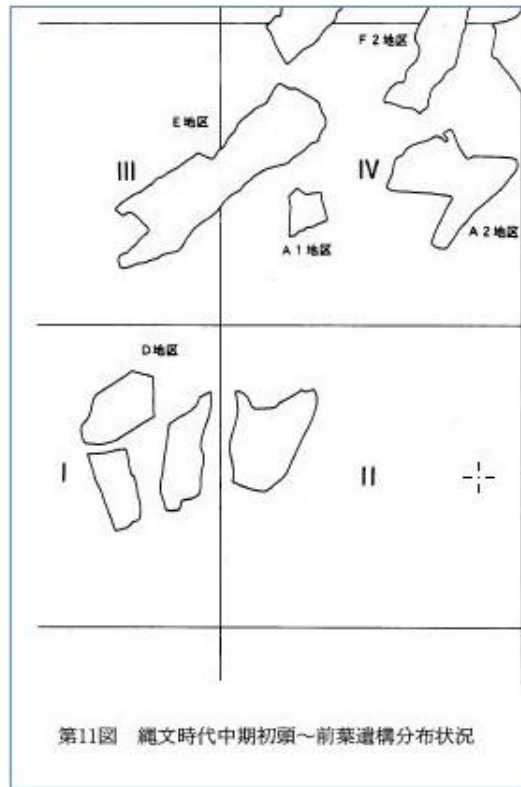
【顔面裝飾付土器出土状況】



位置:I地区 XI A20 切り合い:NR14に切られる。形状:不整円形 規模:径4.9 × 4.3m

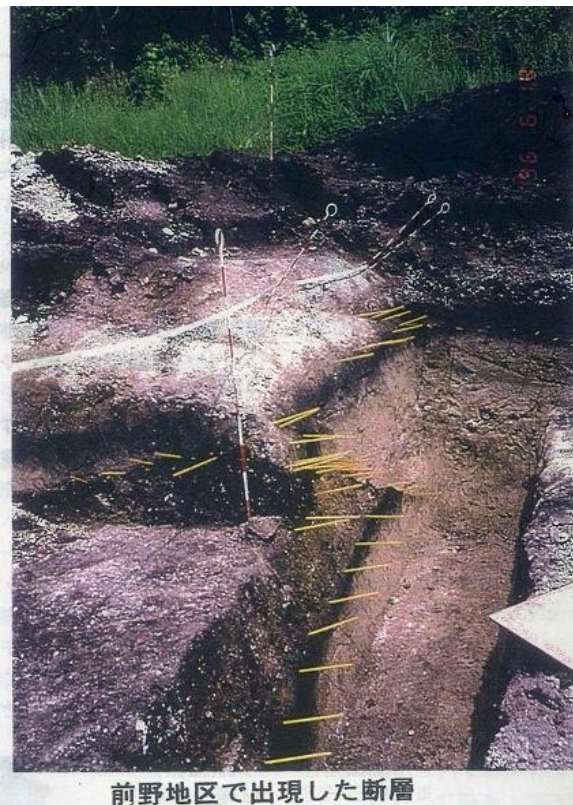


第3図 調査区位置図およびグリッド設定図



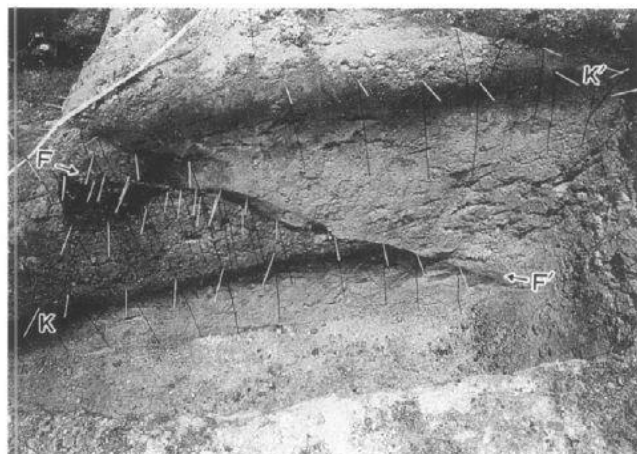
第11図 縄文時代中期初頭～前葉遺構分布状況

【前野地区で出現しいた断層】



前野地区で出現した断層

写真1 活断層検出状況(1)



1996年6月上松町吉野の埋文調査で発見された
 ときの上松断層の露頭(第24図と同じ)、F-F'
 が断層、K・K'は黒土(黒ボク)で断層でく
 いちがっている同じ地層。

4 発掘・整理作業参加者

吉野遺跡群の発掘調査および整理作業に際しては、多くの皆様に御協力をいただいた。

記して謝意を表す。

(五十音順・敬称略)

大戸美恵子 大橋貞雄 大畑美知子 大原はるみ 大屋美代子 小坂 賢 織田さゆり 加藤登美子
金城芳子 上原温子 上村由美子 木下はる代 久保寺すみ子 久保寺 倍 久保寺 実 栗林千世子
黒沢義男 越けさ子 小幡和枝 小畑恵美 小林佳奈子 小林記一郎 坂上金次郎 杉澤忠彦 高倉良子
武居泰雄 田沢清子 忠地 弘 田中勝房 田中はる江 塚本政一 辻 美智子 徳原トヨ 徳原とら子
中栗鐵男 中沢清子 中畑清子 中畑龍太郎 野口高男 野田武彦 畑中喜代子 般若芳行 福田武正
福邑国一 藤原芳子 古瀬定一 細澤幸弘 前野カマノ 前野とし子 前野光代 牧 晴世 丸山アツ子
三浦真智子 森田好弘 八木沼康子 横道ふさ子 横道みね子

吉野遺跡群の本を調べていたら、上記の発掘作業参加者の名簿が出てきた。吉野の知り合いの方の名前も多数載っていたので、付録作成の記念にこの名簿も掲載しました。

吉野の知り合いの方で一番よく知っている者として、なんと実姉が載っていたのは驚いた。姉が発掘作業に参加していたのは知らなかったが、地元の1名として参加したと思います。

今回吉野遺跡記事の追加に当たり甥(姉の子供)に資料集めを頼んだら、家に吉野遺跡群報告書の本があるとの事だった。そこでこの本を送ってもらい、この付録を作成しました。約3cmもある分厚い本は、定価が無く非買品と思われるので、入手方法が気になったが、発掘作業参加者に贈呈された物でした。

【発掘作業者記念写真】



なお、「8496_1_吉野遺跡群.pdf」(無料)は、下記からダウンロードできとも知りました。

<https://sitereports.nabunken.go.jp/ja/8496>

詳しい吉野遺跡群を知りたい方は、ダウンロードして活用して下さい。